

再 評 価 調 書

I 事業概要								
事業名	港湾事業（港湾環境整備事業）							
地区名	衣浦港 東浦地区（緑地）							
事業箇所	知多郡東浦町							
事業のあらまし	<p>衣浦港東浦地区は、衣浦港の湾奥部に位置し、古くには対岸の高浜地区との人の移動・交流のための渡し船「藤江の渡し」が頻繁に往来するなど、海が地域住民にとって大いに親しまれていた地域である。</p> <p>しかし、当該地域は、伊勢湾台風後に築造された堤防により、地域生活と隔絶され、地域住民が海へ近づけない状況になっている。</p> <p>本事業は、地域住民の交流・憩いの場や海洋性レクリエーション機会を創出すると共に、対岸の高浜地区の住民に対する修景改善を提供することを目的として整備するものである。</p> <p>現在は平成27年7月に多目的広場等の整備が完了、一部供用を開始しており、平成31年度の完成を目指して整備を行っている。</p>							
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>住民の要請に対応した憩いの場の創出、海洋性レクリエーション機会の創出を目的として、親水性を有する港湾緑地の整備を行う。</p>							
計画変更の推移		事業採択時 (H3)	再評価時 (H12)	再々評価時 (H17)	再々再評価時 (H22)	再々再々評価時 (H27)	変動要因の 分析	
	事業期間	H3～H12	H3～H16	H3～H20	H3～H26	H3～H31	利用計画の 見直しによる	
	事業費（億円）	16.5億円	15.1億円	11.8億円	11.8億円	11.6億円		
	経費 内訳	工事費	16.5億円	15.1億円	11.8億円	11.8億円		11.6億円
		用補費	—	—	—	—		—
その他		—	—	—	—	—		
事業内容	用地 2.9ha 緑地 2.9ha	同左	同左	同左	同左	同左	変動なし	
II 評価								
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【公園、緑地の利用者数の動向】</p> <p>知多・衣浦東部地域の観光レクリエーション施設の利用者について、直近5年で利用者数の変化は少なく、知多・衣浦東部地域を含む周辺地域の住民の公園、緑地に対する需要に大きな変化はない。</p> <p>【緑地の必要性の変化】</p> <p>東浦緑地は、平成27年7月に一部を供用開始した利用状況を見ると、これまでの土曜及び日曜日の利用率は100%、今後の予約状況も2ヶ月後まで100%となっており、将来的にも高い利用率を維持していくことが予想される。現在も施設利用の予約に関する問い合わせは非常に多く、2ヶ月先の予約も困難になるほど盛況であり、リピーターの利用率も高いことから、利用者からは好評を得ている。</p> <p>【変動要因の分析】</p> <p>特に大きな変動要因はない。</p>						
	判定	B	<p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。</p> <p>B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。</p> <p>C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p>					
		<p>【理由】</p> <p>知多・衣浦東部地域を含む周辺地域の住民の公園、緑地に対する需要に大きな変化はなく、一部供用を開始した緑地についても継続的に利用されることが見込まれる。</p>						

②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H3</th><th>H4</th><th>H5</th><th>H6</th><th>H7</th><th>H8</th><th>H9</th><th>H10</th><th>H11</th><th>H12</th><th>H13</th><th>H14</th><th>H15</th><th>H16</th><th>H17</th><th>H18</th><th>H19</th><th>H20</th><th>H21</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>H31</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">工種区分</td> <td>緑地</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>↔</td><td>↔</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>用地</td> <td>←</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>→</td><td></td><td>←</td><td>←</td><td>←</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>→</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">事業費(億円)</td> <td>計画</td> <td colspan="18">8.7</td> <td colspan="6">3.1</td> <td colspan="6">1.0</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="18"></td> <td colspan="6">1.9</td> <td colspan="6"></td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画【①】</th> <th>実績【②】</th> <th>達成率(%)【②÷①】</th> <th>計画【③】</th> <th>達成率(%)【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>面積(ha)</td> <td>2.9</td> <td>2.5</td> <td>86</td> <td>2.9</td> <td>86</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>11.8</td> <td>10.6</td> <td>90</td> <td>11.6</td> <td>92</td> </tr> <tr> <td> 緑地</td> <td>3.2</td> <td>2.0</td> <td>63</td> <td>3.0</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td> 用地</td> <td>8.6</td> <td>8.6</td> <td>100</td> <td>8.6</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>【施工済みの内容】</p> <p>用地：護岸、用地造成 100%施工済 緑地：多目的広場、駐車場 100%施工済</p>																																H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	工種区分	緑地													↔	↔																	用地	←													→		←	←	←												→	事業費(億円)	計画	8.7																		3.1						1.0						実績																			1.9													これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	達成率(%)【②÷③】	面積(ha)	2.9	2.5	86	2.9	86	事業費(億円)	11.8	10.6	90	11.6	92	緑地	3.2	2.0	63	3.0	67	用地	8.6	8.6	100	8.6	100	その他	—	—	—	—	—
			H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31																																																																																																																																																																																																						
	工種区分	緑地													↔	↔																																																																																																																																																																																																																					
		用地	←													→		←	←	←												→																																																																																																																																																																																																					
事業費(億円)	計画	8.7																		3.1						1.0																																																																																																																																																																																																											
	実績																			1.9																																																																																																																																																																																																																	
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																																																																																																																																																																	
	計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	達成率(%)【②÷③】																																																																																																																																																																																																																																
面積(ha)	2.9	2.5	86	2.9	86																																																																																																																																																																																																																																
事業費(億円)	11.8	10.6	90	11.6	92																																																																																																																																																																																																																																
緑地	3.2	2.0	63	3.0	67																																																																																																																																																																																																																																
用地	8.6	8.6	100	8.6	100																																																																																																																																																																																																																																
その他	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																
2) 未着手又は長期化の理由	<p>前回評価時以降、港湾関係補助金等交付規則実施要領が一部改正され、港湾環境整備施設としての緑地において補助の対象となる施設が大幅に見直されたことを受け、緑地の整備計画及び利用計画について見直したため。</p>																																																																																																																																																																																																																																				
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】 今後の阻害要因は特にはない。</p> <p>【今後の見込み】 平成 31 年度に完了予定。</p>																																																																																																																																																																																																																																				
判定	B	<p>A：事業は順調であり、計画通り確実な完成が見込まれる。 B：多少の阻害要因があるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p> <p>【理由】 緑地の利用計画及び整備計画の見直しに時間を要したため、事業期間を延長した。この計画の見直しにより阻害要因が解決され、今後はほぼ計画通りの完成が見込まれる。</p>																																																																																																																																																																																																																																			

③事業の効果の変化	1) 貨幣価値化可能な効果(費用対効果分析結果)の変化	<p>【貨幣価値化可能な効果(費用対効果)分析の算定基礎となった要因変化の有無】 事業費(割引後)の増額(17.4億円→21.9億円)</p> <p>【貨幣価値化可能な効果(費用対効果)分析結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>事業採択時 (基準年:H3)</th> <th>再評価時 (基準年:H12)</th> <th>再々評価時 (基準年:H17)</th> <th>再々再評価時 (基準年:H22)</th> <th>再々再々評価時 (基準年:H27)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">費用 (億円)</td> <td>事業費</td> <td>16.5</td> <td>15.1</td> <td>15.3</td> <td>17.4</td> <td>21.9</td> <td rowspan="2">H22、H27は 割引後</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.7</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>合計(C)</td> <td>16.5</td> <td>15.1</td> <td>15.3</td> <td>18.1</td> <td>22.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">便益 (億円)</td> <td>港湾周辺地域の環境改善便益</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.3</td> <td>0.2</td> <td rowspan="3">H22、H27は 割引後</td> </tr> <tr> <td>港湾来訪者の交流機会の増加便益</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>33.8</td> <td>32.7</td> </tr> <tr> <td>土地の残存価値</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.9</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>合計(B)</td> <td>-</td> <td>15.4</td> <td>27.2</td> <td>35.0</td> <td>33.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(参考) 旅行費用の消費者余剰(円/人・回)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3,195</td> <td>3,088</td> <td></td> </tr> <tr> <td>算定要因 年間利用者数(人/年)</td> <td>-</td> <td>124,350</td> <td>-</td> <td>72,000</td> <td>72,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">費用対効果分析結果(B/C)</td> <td>-</td> <td>1.02</td> <td>1.8</td> <td>1.9</td> <td>1.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【貨幣価値化可能な効果(費用対効果)分析手法】 「港湾整備事業の費用対効果分析マニュアル」(平成23年6月 国土交通省港湾局)</p> <p>【変動要因の分析】 事業費の増額、港湾来訪者の交流機会の増加便益及び残存価値の減額に伴い、全体としてB/C(費用対効果)が減少した。</p>	区分		事業採択時 (基準年:H3)	再評価時 (基準年:H12)	再々評価時 (基準年:H17)	再々再評価時 (基準年:H22)	再々再々評価時 (基準年:H27)	備考	費用 (億円)	事業費	16.5	15.1	15.3	17.4	21.9	H22、H27は 割引後	維持管理費	-	-	-	0.7	0.7	合計(C)	16.5	15.1	15.3	18.1	22.6		便益 (億円)	港湾周辺地域の環境改善便益	-	-	-	0.3	0.2	H22、H27は 割引後	港湾来訪者の交流機会の増加便益	-	-	-	33.8	32.7	土地の残存価値	-	-	-	0.9	0.6	合計(B)	-	15.4	27.2	35.0	33.5		(参考) 旅行費用の消費者余剰(円/人・回)	-	-	-	3,195	3,088		算定要因 年間利用者数(人/年)	-	124,350	-	72,000	72,000		費用対効果分析結果(B/C)		-	1.02	1.8	1.9	1.5	
	区分		事業採択時 (基準年:H3)	再評価時 (基準年:H12)	再々評価時 (基準年:H17)	再々再評価時 (基準年:H22)	再々再々評価時 (基準年:H27)	備考																																																																								
	費用 (億円)	事業費	16.5	15.1	15.3	17.4	21.9	H22、H27は 割引後																																																																								
維持管理費		-	-	-	0.7	0.7																																																																										
合計(C)		16.5	15.1	15.3	18.1	22.6																																																																										
便益 (億円)	港湾周辺地域の環境改善便益	-	-	-	0.3	0.2	H22、H27は 割引後																																																																									
	港湾来訪者の交流機会の増加便益	-	-	-	33.8	32.7																																																																										
	土地の残存価値	-	-	-	0.9	0.6																																																																										
	合計(B)	-	15.4	27.2	35.0	33.5																																																																										
	(参考) 旅行費用の消費者余剰(円/人・回)	-	-	-	3,195	3,088																																																																										
算定要因 年間利用者数(人/年)	-	124,350	-	72,000	72,000																																																																											
費用対効果分析結果(B/C)		-	1.02	1.8	1.9	1.5																																																																										
2) 貨幣価値化困難な効果の変化	<p>【前回評価時の状況】 特になし</p> <p>【再々再々評価時の状況】 特になし</p> <p>【変動要因の分析】 特になし</p>																																																																															
判定	<p>B</p> <p>A: 事業着手時とほぼ同様の事業効果が発現される見通しがある。 B: 事業着手時と比べ低下が見られるが、十分な事業効果が確保される見通しがある。 C: 事業着手時と比べ著しく低下し、現時点では事業効果が確保される見通しが立たない。</p> <p>【理由】 前回評価時と比べ低下が見られるが、十分な事業効果が確保される見通しがある。</p>																																																																															
III 対応方針(案)																																																																																
継続	<p>中止: 上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続: 上記以外のもの。</p>																																																																															
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容																																																																																
<p>■対象(事業完了後 年目) □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>【主な評価内容】 年間緑地利用者数、緑地利用満足度(アンケート)による費用対効果の算出</p>																																																																																
V 事業評価監視委員会の意見																																																																																
衣浦港東浦地区の対応方針(案)〔事業継続〕を了承する。																																																																																
VI 対応方針																																																																																
事業継続																																																																																